

川根地区中高連携だより

川根地区連携型中高一貫教育協議会

■ 「伝統は、変化を取り入れるからこそ、続いていく」

山形県楡引町黒川地区には、400 年以上も前から伝わる国の重要無形文化財「黒川能」が守り伝えられています。中央の能とは異なり、独自の伝承を続けています。一子相伝で受け継がれる太夫は、現在下座においては、第二十代の上野由部氏が務めています。上野氏は、中学校長を退職された方で、島田市大草地区との交流もあることから、晩餐をともにする機会を得ました。

その時の上野氏の言葉の中で、一番印象に残ったのが、タイトルで示した「伝統は、変化を取り入れるからこそ、続いていく」です。「守りに入ってはいけない」という姿勢は、パリ公演に始まり、国内外の公演を多数こなすという攻めの姿勢に表れています。「外へ出る」ことで、次の世代に伝え渡すことが可能になると思うとおっしゃっていました。

川根高校も伝統ある学校です。そんな中、「子どもの数の減少」は、川根高校だけでなく、日本全体にとっても、大きな課題です。しかし、ただ手をこまねているだけではなく、変化を取り入れる「進取の気質」が、川根高校、そしてそれをバックアップする川根本町の素晴らしいところだと思います。「ICT 機器活用による授業改善」「川根留学生の受入と充実」「公設民営塾設置」そして、「全国公募」。これだけの変化を取り入れながらも、川根高校の魅力である「生徒一人一人を大切にする」姿勢は、見事に貫かれています。

川根高校が、いかに恵まれた教育環境にあるか、改めて受け止め直してほしいことです。

(川根中学校 校長 杉本容康)

■ 平成 29 年度川根講演会（夏）7 月 10 日（月）



お茶とみつばち。それは、全く異なる 2 つの物がどんな関係があるのかイメージが結びつきませんでした。しかし、今回の講演会では、とても深い関係であることに大きな発見と驚きでした。お茶の花のみつで作った「はちみつ」は、とてもおいしく、栄養価が高いことが分かりました。

川根本町は、お茶の産地として有名ですが、年々高齢化などにより、農家が減ってきています。そんな中で、このお茶はちみつを使って、新しい農業を行うことも 1 つのチャレンジかと思いました。今回の講演会で、普段当たり前前に飲んでいる「お茶」の新しい発見ができたことと、「つながり」の大切さを改めて感じました。

(中川根中学校 1 年 坂口天月)



■ 交流授業（年間）



本川根中学校には、週に 1 日保健体育の山下先生と英語の芦澤先生が来てくださっています。保健体育の山下先生は、優しく、わかりやすくアドバイスをしてくださいました。マット運動の伸膝前転では、起き上がるコツや、綺麗に見えるポイントを教えてもらいました。そのおかげで綺麗に起き上がることができました。英語の芦澤先生は単語や本文を読む時に、発音良くスラスラ読めるよう間を開けて読んだり、繰り返し練習したりしてくださいました。また、気軽に話しかけてくださり、英語を話すのが楽しくなりました。3 年生は中学校生活残り少ないので、貴重な経験となるよう、残りの交流事業で高校の先生方に積極的に指導を受け、充実した授業にしていきたいと思ひます。

(本川根中学校 3 年 中野竜哉)

僕が池住先生にいただいたアドバイスで印象に残っていることは、跳び箱の授業の時です。僕が頭はね起きがきれいにできずに困っていたら、先生が「もっと踏み込みを強くして、手を跳び箱の前に置くといいよ。」とやさしく教えてくれました。僕は先生が言ったことを意識してやったら、頭はね起きが上手になりました。これからも、先生から教えてもらったアドバイスを意識して授業で活かして行きたいです。

(川根中学校 3 年 原崎真太郎)

池住先生には、体育の時間に色々なことを教えていただきました。特に印象に残ったことは、跳び箱の授業です。僕がはね起きの練習で上手にできなかったとき、先生が「もっとおでこを跳び箱につけた方がいいよ。」と言われました。次からそのことを意識してやっていたら、少しずつ頭はね起きができるようになりました。そのとき、とても嬉しい気持ちになったことを覚えています。池住先生からおおくのことを学びました。

(川根中学校 3 年 松下一星)

■ 授業参観(年間)

公開授業で3年生の英語を参観させていただきました。全て英語で進められる授業でしたが、生徒は先生の問いかけに英語で反応したり、指示を理解して問題に取り組んだりしている姿を見て、英語を聞き取る力が十分についているが分かり頼もしく思いました。また、中学校での教え子が、当時と変わらない明るい表情、そして丁寧な言葉遣いで将来の夢を熱く語ってくれ、かつ真剣に授業を受けている姿も見ることができました。手厚い学習指導と進路指導、教員と生徒のあたたかな人間関係が築けるところは、川根高校の魅力だと思います。(中川根中学校 教諭 相藤由里)

高校一年生の国語総合の授業を参観させていただきました。授業者の先生が教材本文の音読をされながら、難しい漢字や難しい言葉を生徒に確認させていました。中学校の授業で扱う文章に比べ、高校生が学習する文章は、構造や語彙が難解なものが多くあります。その文章を読み解くためには、生徒たちの言語力が必要になります。川根高校の先生方は、生徒たちの言語に対する感覚を日頃から磨かれていると感じました。本校を卒業した生徒の頑張る姿を見る、良い機会にもなりました。(川根中学校 教諭 梅貝裕平)

■ 平成29年度川根高校中学生一日体験入学 7月26日(水)



連携中学校の3年生が川根高校の中学生一日体験入学に参加しました。学校紹介、模擬授業、部活動見学等を通じ、川根高校をより深く理解し、高校生活のイメージが持てたのではないのでしょうか。



■ 連携中学体育祭 9月9日(土)本川根中 17日(月)中川根中 19日(火)川根中

川根高校の体育祭は6月に終わってしまったため、本川根中学校の体育祭は、私にとって人生最後の体育祭となりました。私が在学していたころよりも全校生徒数が少なくなっていて驚きました。しかし、保護者の方をはじめ、地域から多くの方が参加したことで、とても活気のある体育祭でした。来年の体育大会も期待しています。

(川根高校 3年 竹野雄大)



■ 連携中学校文化発表会 10月21日(土)



今回の文化発表会では、川根高校等学校郷土芸能部の方に来ていただきました。太鼓を演奏しながら一回転して隣の太鼓に移動したり、掛け声をかけたりと、とても息の合った迫力のある演奏に、会場全体が引き込まれました。高校生の素晴らしい演奏のおかげで、文化発表会がより盛り上がったと思います。私たちだけではなく、高校生や先生方保護者の方の協力もあり、思い出に残る文化発表会になりました。

(本川根中学校 3年 泉谷楓)

10月21日に行われた文化発表会に川根高校の吹奏楽部が演奏をしに来てくださいました。川根高校の吹奏楽部は、川根中と同じ少人数ですが、演奏に対する姿勢がいいと演奏を聴いて感じました。それは、演奏中に楽譜ばかりを見るだけでなく、指揮をしっかりとして見ていたからです。また、『シュガーソングビターステップ』の演奏では、全員が強弱をつけて曲を盛り上げていたところがとてもかっこよかったです。

川高生の演奏は、一人一人が自分の音をしっかりと出していて、聴く人に想いを伝えようとしているのが私に伝わってくる演奏でした。オータムでは、川高生と合同で演奏をするので、私も川高生みたいに人に想いを伝えられるような演奏ができるように頑張りたいです。

(川根中学校 3年 三浦真琴)



川根地区連携型中高一貫教育協議会

連携校(静岡県立川根高等学校、川根本町立本川根中学校、川根本町立中川根中学校、島田市立川根中学校)
事務局：川根高校 TEL57-2221 E-mail:kawane-h@edu.pref.shizuoka.jp 御意見をお待ちしております。